

moshi moshi

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ

Vol.1
January 1997

[今月の特集]

風邪をひきやすい子

まわりの子にくらべて風邪ばかりひいているという電話相談は実に多いのです。「まわりにこんなに風邪ひく子はいません」ってお母さんは嘆かれますが、全国的には「風邪をひきやすい子」はかなり多いようです。

じろうこう

耳瘻孔

耳たぶにある穴。先天的な小さな奇形。これを生まれつきもっている人は意外に多い。この電話相談でも毎年何件かの質問がある。この場合、いちばん問題となるのは手術するかしないかだ。ほとんどの人はこの穴があっても膿むなどの問題が出ない。このように、膿むということがないなら何もせずに放置しておけばよい。ただ、ときにこの穴にバイ菌がはいって何回も膿んでしまう子がいる。このような場合は手術でこの穴をなくしてしまおうというのが専門医の見解。



こうもんしゅういのうよう

肛門周囲膿瘍

肛門のそばにできるおでき。男の子だけにできるのが特徴。名前はいかめしいが、それほど珍しい病気ではない。電話相談でも結構受ける質問のひとつだ。

原因菌は肛門の周囲にいる細菌。この細菌が肛門のまわりの組織に感染して膿瘍をつくるために痛みや腫れが出てくる。

普通は抗生物質の塗り薬と内服薬で治ってしまうが、繰り返す場合やかなりひどい場合は、切開が必要なこともある。そのような場合は、小児外科で相談をするのもひとつの方法。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 毎週水曜日 14時～17時に受けつけています

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院）

構成 / 泉美智子 イラスト・レイアウト / いとうやすこ



先生 抗生物質は腸の中より働きをしている細菌も殺してしまつたために下痢を起していたりするものがあります。将来問題が出るのではないかと心配ですね。

先生 抗生物質を出す医師は多いですね。先生 風邪に抗生物質を出すか出さないかは医師の中で議論の別れるところ。風邪はウイルスを起すもので、抗生物質が効くのはウイルスではなく細菌。しかし、風邪をひくことが荒れるからそこに細菌がついてそれで肺炎や中耳炎や副鼻腔炎を併発するところがあるので、その可能性のある子には予防のために出す場合もあります。基本的には風邪の場合は対症療法として咳には咳止め、熱には解熱剤となるのです。抗生物質を出す医師は多いですね。

先生 健康になる手はないですか。バと体質が変わるような...。そんなものないでわかつてるんですけどー。

先生 そうですね。そんな魔法のような手はないですが、昔からいわれているように乾布摩擦をする。お風呂あがり冷たい水と熱い湯を交互に体にかけるなど皮膚を鍛えることを根気よく毎日することが体を丈夫にして風邪をひきにくくする体質づくりになるんですね。

先生 風邪に抗生物質を出すか出さないかは医師の中で議論の別れるところ。風邪はウイルスを起すもので、抗生物質が効くのはウイルスではなく細菌。しかし、風邪をひくことが荒れるからそこに細菌がついてそれで肺炎や中耳炎や副鼻腔炎を併発するところがあるので、その可能性のある子には予防のために出す場合もあります。基本的には風邪の場合は対症療法として咳には咳止め、熱には解熱剤となるのです。抗生物質を出す医師は多いですね。



風邪ばかりひく子

なぜ、うちの子ばかり風邪ひくの？
お医者さんはいつも
「お風邪です」というけど、
悪い病気？それとも免疫不全？

—3才3か月のA子ちゃんママとの電話相談から

肺炎になり、11か月でおたふく風邪のあとまた風邪。その風邪のときは下痢がひどくて入院...。

先生 生まれつき軽い免疫不全がある場合も...

よく熱を出すんです。そのつど先生は「風邪」ってほんとに信じていないでしょうか。この春から幼稚園にはいっていますが、半分以上休んでるんです。

先生 幼稚園のはいりたては病氣ばかりする子が多いのです。半分行ければいいって考えたほうがよいかもしれません。

いえ、うちの子、幼稚園にはいる前からなんです。6か月で風邪から

そうですよね。0才で入院したとき先生に検査をお願いしたんですが、その必要がなくなつていわれてしまつて。

先生 軽い免疫不全があつても自然に治っていくことが多いので、そんなに小さいうちから検査しなくても先生は考えられたのではないですか。

低身長

ケース1

Q 生まれたときの身長が48.5cmで少し小さめでしたが、1才で71cm。平均より4cmも低いのが気になります。1才で体重が9kgとやせているのも不安です。離乳食はよく食べる子でしたが、9か月前後は食欲不振でした。

A いま - 1.5 SDくらいですね。この1年の伸びは確かに悪いですが、成長ホルモンの出方が非常に悪いということがあれば、もっと極端に伸びが悪くなるはず。この時期は成長ホルモンよりも栄養が重要な時期で、9か月前後の食欲不振が関係している可能性があります。体重が9kgですから身長相応の体重で、

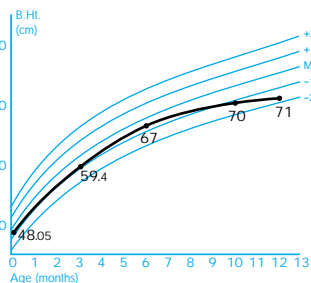
やせすぎているともいえません。

いまは食欲が出てきちんと食べているというなら、心配はないでしょう。乳児の計測は難しく、計測の誤差ということもあるので、心配なときは何回も計ってみることも大切です。

そして身長を計測したときには母子手帳のグラフに記入してみてください。その成長曲線が10パーセンタイル以下でも10パーセンタイルの線に沿って伸びていれば心配ありません。



48・5cmで生まれた男の子。
1才で71cmと低い！



ケース2

Q 生まれたとき53cmもあって、大きいといわれていたのに1才で71cm。体重は3860gで生まれたのに1才で7400gしかありませんでした。夫は182cm、私は164cm、上の女の子は3才ですが、身長は高いほうです。それなのに、この子はなぜか伸びが悪いのです。

ほとんど母乳で、母乳は足りていたようですし、離乳食も普通に食べていました。少し大きな病院のお医者さんにみてもらったほうがよいでしょうか。

A これはすぐ専門医にみてもらったほうが、よいですね。普通、1年で25cmは伸びるところが、この1年間に18cmしか伸びていないですからね。この伸びは少なすぎます。

それに家族全員の身長が高いのに、このお子さんだけ低いという点や、乳児期の栄養にもあまり問題点がないのに身長の伸びが悪い点なども気になります。

みてもらう病院はただ大きい病院というだけではなく、小児内分泌の専門の医師にみてもらってください。ご紹介しますから。

53cmで生まれた男の子。
年間18cmしか伸びない

